

OECD における生態影響試験法

■ OECD テストガイドラインについて

OECD（経済協力開発機構）は、加盟国における経済の持続的成長、自由かつ多角的な貿易を主目的として、1960年に設立された国際機関であり、現在30の先進諸国が加盟している。

OECDでは、化学物質の安全についての取組を進めており、その1つとして、化学物質の有害性を評価するための試験法を「テストガイドライン」として作成している。そのうち、生態系への影響に関するテストガイドライン（TG）については、2001年10月現在、17項目が承認されており、さらにドラフトガイドラインとして、8つ（TG 202 及び 208の改訂版を含む）が提案されている。

■ TG（テストガイドライン）の種類

- ・ TG 201 藻類生長阻害試験（改訂版、1984年6月承認）
- ・ TG 202 ミジンコ類急性遊泳阻害試験および繁殖試験（改訂版、1984年4月承認）
（TG 202 ミジンコ類急性遊泳阻害試験として改訂中。2000年10月ドラフト）
- ・ TG 203 魚類急性毒性試験（改訂版、1992年7月承認）
- ・ TG 204 魚類延長毒性試験：14日間（1984年4月承認）
- ・ TG 205 鳥類摂餌毒性試験（1984年4月承認）
- ・ TG 206 鳥類繁殖試験（1984年4月承認）
- ・ TG 207 ミミズ急性毒性試験（1984年4月承認）
- ・ TG 208 陸生植物生長試験（1984年4月承認：改訂中 2000年7月ドラフト）
- ・ TG 209 活性汚泥呼吸阻害試験（1984年4月承認）
- ・ TG 210 魚類の初期生活段階毒性試験（1992年7月承認）
- ・ TG 211 ミジンコ繁殖試験（改訂版、1998年9月承認）
- ・ TG 212 魚類の胚・仔魚期における短期毒性試験（1998年9月承認）
- ・ TG 213 ミツバチ急性経口毒性試験（1998年9月承認）
- ・ TG 214 ミツバチ急性接触毒性試験（1998年9月承認）
- ・ TG 215 魚類稚魚成長毒性試験（1998年9月承認）
- ・ TG 216 土壌微生物窒素無機化試験（1998年9月承認）
- ・ TG 217 土壌微生物炭素無機化試験（1998年9月承認）
- ・ TG 218 底質によるユスリカ毒性試験（ドラフト）（2001年2月）
- ・ TG 219 水質によるユスリカ毒性試験（ドラフト）（2001年2月）
- ・ TG 220 ヒメミミズ科繁殖試験（ドラフト）（2000年3月）
- ・ TG 221 ウキクサ生長阻害試験（ドラフト）（2000年10月）
- ・ TG ウズラに対する鳥類繁殖毒性試験（ドラフト）（2000年4月）
- ・ TG ミミズに対する繁殖毒性試験（ドラフト）（2000年1月）